

平成27年1月10日号 (第145回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

あけましておめでとうございます。「阿伎留通信」は本年も皆さまの健康に役立つ情報を発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて今回の阿伎留通信は、

ー「アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療」ー

をテーマに耳鼻咽喉科 石川 淳一医師より

お話しさせていただきます。



まず、アレルギー性鼻炎は①通年性アレルギー性鼻炎と②季節性アレルギー性鼻炎の2種類に分類されます。

- ① 通年性アレルギー性鼻炎は、ダニやハウスダストといったものが原因となり1年を通して症状が出現するものを言います。
- ② 季節性アレルギー性鼻炎は、季節に飛散する花粉が原因となり、花粉が飛散する時季にのみ症状が発現する、いわゆる花粉症の事を言います。

いずれも主な症状は1.鼻づまり 2.鼻水 3.くしゃみです。これらに対する治療方法として当院耳鼻咽喉科で行っているレーザー治療についてご説明させていただきます。

一般的にアレルギー性鼻炎に対して耳鼻咽喉科では点鼻薬や内服薬で治療を行っています。ところが人によっては、何種類も内服薬を服用しているにもかかわらず症状が治まらない方や、お薬の効果はあるものの今ひとつ鼻の症状がすっきりしない方が数多く存在します。

そういった方も含め、当院ではアレルギー性鼻炎に対してレーザー治療を行っています。レーザー治療は花粉症の症状(鼻づまり・鼻水・くしゃみ)の内、鼻づまりに効果が強いと言われております。以下、レーザー治療についてよくいただくご質問を、回答とともに紹介します。

Q：レーザー手術はいつ行えばよいのでしょうか？

A：花粉症に対しては、原則その季節の1～2ヵ月前に施術すると良いと言われています。

Q：レーザー手術ではレーザーをどこにあてるのでしょうか？

A：鼻の中には下鼻甲介という場所があり、その場所が一般的にアレルギー反応に関与していると言われています。そこにレーザーをあてることによりアレルギー反応を抑制し症状の緩和を図ります。



Q：手術時間はどのくらいかかりますか？

A：手術時間は15分ほどで終了します。

Q：レーザー手術って痛くないのですか？

A：なにもせずに直接レーザーを当てると痛みがもちろん出てしまいます。痛みを極力感じないように手術前に鼻内の粘膜を麻酔します。麻酔といっても注射ではなく、ガーゼに麻酔液を浸して鼻内に10分ほど留置します。手術中痛みが強ければ、その都度麻酔を追加し痛みに対して対応させていただきます。

Q：一度レーザー手術を行えば、ずっと効果が続くのでしょうか？

A：効果や持続期間は人によって異なります。毎年花粉症の季節がくる度にレーザー治療を行う方もいます。治療を行うかどうかは、その年の花粉の飛散量なども参考にされると良いと思います。

Q：レーザー手術を行った後に注意する事はありますか？

A：特に日常生活で制限はありません。ただ、レーザー手術後の副反応として一時的に鼻づまり・鼻水が悪化します（1～2週間程で改善します）。そういった経過をたどりますので、手術後に鼻づまり・鼻水が悪化したとしても、ご理解のほどお願いいたします。

Q：保険適応でしょうか？

A：保険適応は認められています。

Q：そもそも花粉症かどうかわからないのですが…

A：外来での問診及び診察、また採血を行う事により診断します。採血では、どの季節に花粉症の症状を生じやすいか、また花粉以外にもダニやハウスダスト等に対してもアレルギー反応があるかどうかを確認する事ができます。採血後1週間程で結果がわかります。

当院耳鼻咽喉科では特殊外来として毎週火曜・水曜の午後にレーザー治療を行っております。レーザー治療をご希望の方、興味のある方、もしくはお話を聞いてみたい方は是非、耳鼻科外来を受診してください。

公立阿伎留医療センター 患者サービス改善委員会 発刊

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)